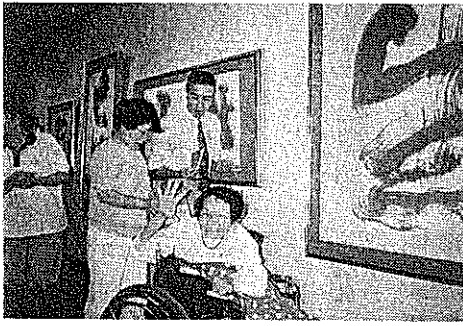


## 友沢龍三 書作展見学

七月八日、松山市のグラン・フジに於いての書作展見学。友沢龍三氏は、三恵ホームのケア・ワーカー友沢さんのお父さんです。今回が初めての個展だったそうです。下度、実習中だった明德短大の学生さんとも一緒に見学に行ってきました。

大きく書かれた文字の一つ一つが、まるで生きてるように感じられます。感想は？の問いに、「芸術的。前衛的。私には読めない字もあったけれど、迫力があった。」「作者と筆と紙が三位一体となった作品の中に、今もう一つ絵が書き出されていたのに深い肝銘を受けた。」それがカルチャー・ショックを受けたのかもしれない。魂のこもったようなこの字に負けないで……という思いを抱き帰ってきました。



に深い肝銘を受けた。」それがカルチャー・ショックを受けたのかもしれない。魂のこもったようなこの字に負けないで……という思いを抱き帰ってきました。



広げよう  
法人の輪

カラオケ部長  
入所者 宇佐美 孝治

昨年からの今年の行事予定を各クラブ毎に部員達に図ったところ、カラオケクラブは他の施設へ交流に行きたいとの要望が多数あり、ホームの方から交流先を捜して戴き延び延びになっていきましたが、やっと七月二十二日、新築の特別養護老人ホーム『ハートランド三恵』に、ハートランド三恵、角野荘、十全デイケア、三恵ホームの四施設の入所者、職員、実習生の約九〇名が集い交流と親睦会を催し、それぞれカラオケ詩吟と私達はアガりましたが、流石、御老人方は落ち着いたもので堂々として声も歳を感じさせないものがあり、ホームは広く明るく設備は良く職員さん方が一致した介助をされている様でした。

これを機会にもっともつと、他の施設、身障者及び健常者との交流を図りたいと切に思います。その為にボランティアを大いに募る(家族、OBの方、地域の方、他の施設の方々の協力を仰ぐ)事が必要と思いますが、皆さん方はどう考えになりますか、御意見を御聞かせ下さい。



三恵ホームでの  
実習を終えて

今治明德短期大学  
実習生 小池そよ子

私は今、三週間という長期に亘っての実習を終えてほっとした気持ちです。三恵ホームでは『個人個人に合った援助方法の違いについて』学びました。コミュニケーション・姿勢・車椅子↓ベットへの移動の方法・特浴と一般浴の介護方法の違いです。特に排泄介助は、紙オムツのあて方・用いる容器等、昼と夜間では随分と介護方法が違うのには驚きました。

感動した事は、寮母さんと入所者一人一人との信頼関係が、お話しの内容や介護の行ない方といったところから、うらやましいほどできているということです。

又、すばらしいと思った事は、職場で働いていらっしやる方たちのチームワークです。寮母さん、指導員さん、看護婦さんたちのチームワークは、見えて「ああ、こういうものが職場の雰囲気というものなのかな」と思い私もいつかこのような施設で働いて仲間に入れて頂けたらという気持ち一杯になりました。最初ということもあり不安が多い実習でしたが、いつも暖かく御指導して下さいありがとうございます。三恵ホーム大好きです。